

2023年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 2023年6月3日(土)
10時40分～16時10分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来賓挨拶
5. 講 演
「健康寿命を延ばす健康づくり施策—静岡県の取組—」(仮)
講師：静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課
課長 島村 通子 氏
6. 特別講演
「デジタル技術を活用した食育の推進
～デジタル食育ガイドブックの活用について～」(仮)
座長：(公社)静岡県栄養士会 理事
講師：株式会社ビストロパパ代表取締役
料理研究家 滝村 雅晴 氏
7. 議長選出
8. 議事録署名人選出
9. 書記指名
10. 総会成立宣言
11. 議 事
 - (1) 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 2022年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)
及び財産目録承認の件
 - (6) 報告事項 2023年度事業執行計画について
 - ① 2023年度事業計画の件
 - ② 2023年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - (7) その他
12. 閉 会

会員各位

若葉の鮮やかな季節となり、自主的なコロナ対策を講じながら、マスクなしの世界“感”へと移り変わる、シン・生活が始まりました。併せて新体制で迎えた初めての定時総会を開催する運びとなりました。2022 年度事業、特に研修会ではオンラインとオンサイトを併用したハイブリッドでの事業展開が加速化し、理事および運営委員ともに質の向上を意識し学びながら、会員の要望に応えるべく対応して参りました。また市町の健康イベント件数も少しずつコロナ前に戻りつつあり、我々の力を必要とされる場面も増えています。コロナ禍で学んだ知識と技術を次世代に繋ぎ、深緑へと変わりゆく木々のように、我々管理栄養士・栄養士は生命の強さを育むために、栄養の重要性を伝承し、人びとの健康を支える存在として、よりいっそう自己研鑽と、その力を社会に還元しなければなりません。

2022 年 11 月末、概ね 3 年を目途に実施される「公益法人の立入検査」を受け、大きな指摘事項はなく適正であることの報告をいただきました。一方、「公益性」すなわち特定の個人や組織のみではなく、「広く社会一般の利益」に繋がる活動を、本会が十分に担うことができたかと自問自答すると、まだ発展の途上にあると感じています。公益社団法人静岡県栄養士会として、社会のニーズに応え、役立つ専門職として、我々は力を発揮し、発信し続けていきたいと思えます。

公益法人総会での決議には会員数の 2 分の 1 の承認を必要とします。同封のハガキにて、第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件、第 2 号議案 2022 年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）及び財産目録承認の件につき、書面をご確認のうえ、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

結びに、当会はこれからも栄養ケア・ステーション（CS）事業の知名度アップとエビデンスの構築、そして CS 登録者数のさらなる増加と連携体制の整備、静栄 DAT の充実、会員スキルアップ事業の促進、多職種・他団体との連携強化等、事業を通じて栄養士会の活性化、推進になお一層努力を重ねて参ります。ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023 年 5 月 吉日

公益社団法人 静岡県栄養士会
会 長 新 井 英 一

2022年度事業報告

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 健康栄養知識普及事業

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
10月8日	富士市民エンジョイスportsデー	富士総合運動公園	小川知子、佐野文美	794	266
10月23日	奈良本ヘルシーウォーク	奈良本公民館	下田静、須藤優希	74	30
11月13日	第27回三島市民すこやかふれあいまつり	三島市民体育館	神尾房子、國武淑子	3,000	50
11月27日	牧之原市食育・歯科・環境フェア	牧之原市ミルキーウェイスクエア	木村郁代、小野田美津子	250	230
計		4	8	4,118	576

(2) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会 場	内 容	担当栄養士
10月26日	静岡県総合社会福祉会館	「しずおか健康づくりサポーター意見交換会」 しずおか健康づくりサポーター参加企業・団体が参加。栄養士会のブースを設置し、パンフレットを配布した。	久保田美保子、塚本ゆみ江

(3) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会 場	内 容	講師	参加人数
12月3日	クリエート浜松	1 「食べることの支援ってなに？」 2 「しっかり食べるためのお口の維持」 3 「食生活の困った！実演で解決」 4 座談会	在宅連携センターつむぎ 水崎和子 氏 静岡県歯科衛生士会 矢部高子 氏 静岡県栄養士会 田森稔浩 氏	12

(4) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修事業業務【静岡県健康増進課委託事業】

令和元年5月「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の改正が行われ、これまで医療保険と介護保険の連携が取れず、高齢者への保健事業の取り組みが薄かった部分を改善するため、令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の制度が施行されることとなった。静岡県では、令和2年度から令和4年度の3年間にわたり市町事業(個別的支援及び通いの場への関与等)に協力可能な医療専門職を養成することとなった。そのうち管理栄養士・栄養士については、引き続き指導者育成研修等を行い、さらに市町事業に協力可能な専門職の名簿を作成した。

①管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修の実施

- ・市町が実施する介護予防事業に於て、高齢者自立支援に向けた指導助言ができる管理栄養士・歯科衛生士の指導者を育成した。
- ・予め講師による講義を撮影した上で、Web配信を行い、受講者が視聴する形態(オンデマンド)で実施。受講後、レポートの提出をもって修了とした。
- ・研修期間：8月22日～10月6日
- ・修了者数：管理栄養士・栄養士 76名、歯科衛生士 73名

②栄養ケア・ステーションにおける管理栄養士・栄養士を紹介する仕組みの運用

管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成研修の修了者を対象に、市町等が実施する介護予防事業に協力可能な静岡県栄養士会会員の管理栄養士・栄養士の名簿を作成。市町等から依頼された場合紹介する仕組みづくりについて準備した。

各市町等から東部・中部・西部の各栄養ケア・ステーションは依頼を受け、栄養ケア・ステーションより管理栄養士・栄養士を紹介した。(22回)

- ・令和4年度に従事した管理栄養士について、通いの場等での活動を支援する会議を行った。
- ・通いの場支援のためにリーフレットを作成した。

開催日	市町	内 容	講師	参加人数
5月19日	沼津市ヌマヅハラ 県'Sルーム	低栄養、フレイル予防のための食事の摂り方 骨粗鬆症の予防、中食の上手な利用の仕方について	石井浩子	27
6月9日	沼津市 浮島地区センター	フレイル予防と低栄養状態の予防と改善について	杉山清子	12
7月28日	沼津市県営原団地 第2集会場	低栄養について	池谷広美	10
8月26日	沼津市大平老人 クラブ連合会	口腔・栄養教育講座	杉山清子	22
10月6日	沼津市原地区 センター第1会議室	高齢期の食生活について	佐々木和子	13
10月13日	沼津市片浜地区 センター大会議室	低栄養について・時短料理と便利な道具について	池谷広美	22
10月14日	沼津市 市営原団地集会室	低栄養について・時短料理と便利な道具について	池谷広美	11
10月31日	沼津市沼津平町 2丁目自治会館	フレイル予防を意識した食生活について バランスの良い食べ方について	小田恵子	17
11月17日	沼津市ヌマヅハラ 県'Sルーム	転ばないで元気に過ごすための食事の摂り方	古田絵里	20
5月19日	函南町 保健福祉センター	低栄養予防について	杉山清子	7
6月27日	函南町 ダイヤモンドホール 函南町平井	高齢者の低栄養予防について	鈴木純子	10
8月18日	函南町 保健福祉センター	高齢者への介護予防教室（低栄養予防について）	杉山清子	7
9月26日	函南町 ダイヤモンドホール 函南町平井	高齢者の低栄養予防について	鈴木純子	15
11月17日	函南町 保健福祉センター	高齢者への介護予防教室（低栄養予防について）	杉山清子	12
2月9日	函南町 保健福祉センター	高齢者への介護予防教室（低栄養予防について）	杉山清子	11
9月21日	長泉町 西区公民館	高齢期の低栄養について	若林恭子	9
9月26日	長泉町 本宿公民館	低栄養、フレイル予防のための食事の摂り方 骨粗鬆症の予防、中食の上手な利用のしかたについて	石井浩子	16
11月22日	長泉町 新屋町上区公民館	高齢者の低栄養予防について	鈴木純子	7
1月10日	長泉町 鮎壺第1公会堂	低栄養について・時短料理と便利な道具について	池谷広美	12
1月20日	長泉町 駅上記公民館	低栄養予防について	白石明子	13
2月11日	長泉町 長泉町東区公民館	低栄養にならないための食事の摂り方・栄養素の話	藤曲薫代	9
11月30日	南伊豆町 石廊崎コミュニテイ センター	低栄養予防と骨粗鬆症予防について	佐野ちえみ	11
計22回	合計参加者数			293

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

- ・食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対して、不適正表示を未然に防止するための講習会を県内3カ所で開催した。
- ・一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを5,000部作成した。
- ・2019年度から原料原産地表示制度に関する講習会を加えて開催、県の依頼で講師は栄養士会が担当した。
- ・食品表示制度講習会へ参加の食品加工業者には資料を配布した。
- ・事業者向けに栄養成分表示を作成する動画および食品表示基準Q&Aの使い方動画を作成した。

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
10月21日	伊東市観光会館	食品表示講習会	【講師】 静岡県栄養士会 川上栄子 氏 【助手及び受付事務】 池谷広美	6
11月9日	島田市民総合施設 プラザおおるり	・食品表示制度について ・新しい原料原産地表示制度について ・栄養成分表示の表示方法について	【講師】 静岡県栄養士会 川上栄子 氏 【助手及び受付事務】 山崎靖晃、池谷広美	会場 14 WEB 86
令和5年 1月24日	袋井南コミュニティ センター	・食品表示制度について ・新しい原料原産地表示制度について ・栄養成分表示の表示方法について ・「食品添加物の不使用表示に関する ガイドライン」について	【講師】 静岡県栄養士会 川上栄子 氏 静岡県衛生課 【助手及び受付事務】 山崎靖晃、池谷広美	会場 6 WEB 104

(6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

市民に向けて地場産の食材の紹介や意義について周知し、理解を深めることとする。

①「親子地産地消ツアー」

小学生児童親子を対象に、地場産の食材を通じて食を科学し、自分自身でより良い食生活について考え、実践できるようにするため、『う宮～な』を活用し、地産地消の意義と野菜の大切さを知り、正しい食生活について学ぶこととする。

『う宮～な』の地場産の新鮮な野菜を持ち帰り、実際に自宅で料理して食べることで地場産の野菜等について興味や理解を深めていくことを目的とする。

実施日	会場	内容	担当者等	参加人数
8月3日	JAふじ伊豆 う宮～な	地産地消の講話と食材の講話 (管理栄養士) 地場産の食材を使ったレシピの デモンストレーション(管理栄養士)	【講師】 若林恭子 氏 【担当】 望月綾子、鷹島陽子、 田山恵子、芦澤裕子	親子10組 23名
8月5日	JAふじ伊豆 う宮～な	地場産の食材の説明 (JAふじ伊豆) ・地場産の野菜のお話し ・新鮮な野菜の見分け方	【講師】 望月綾子 氏 【担当】 若林恭子、芦澤裕子、 田山恵子、野田美千子	親子7組 21名

②「鎌倉時代の食文化について考える講演会」の開催

富士宮市は鎌倉幕府の長となった源頼朝が富士の巻狩りを行ったゆかりの地であることから、鎌倉時代の食文化についてその時代から受け継がれている食文化について理解を深めることを目的とする。

実施日	会場	内容	担当栄養士	参加人数
10月6日	富士宮市役所 710会議室	「鎌倉時代の食文化を知ろう」 講師 静岡県立大学 名誉教授 新井映子 氏 鎌倉時代のレシピ作成 懐石 いっ木 (一木敏哉氏) ①強飯屯食(とんじき) ②鹿の干し肉 ③国清汁(こくしょうじり) ④醬 (ひしお) ⑤抹茶	若林恭子、望月綾子、 田山恵子、中野英美	43

(7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
10月26日	稲取会場(東部) 東伊豆町役場	①講話 「健康な食事」について考える ②事例紹介 「飲食店における「健康な食事」 取組事例の紹介」	【講師】 ①中部大学客員教授 近藤今子 氏 ②はまべ荘 鈴木弘康 氏 【助手及び受付事務】 森平教子、池谷広美、 白石明子、滝沢かよ子	17
2月14日	焼津会場(中部) 亀の井ホテル焼津	①講話 「健康な食事」について考える ②事例紹介 「飲食店における「健康な食事」 取組事例の紹介」	【講師】 ①中部大学客員教授 近藤今子 氏 ②土筆旅館 加藤義則 氏 【助手及び受付事務】 森平教子、池谷広美、 青島千恵、石垣範子	24

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
7月10日	静岡県男女共同参画 センター あざれあ	「高校生対象「健康な食事」について考える講座」講師養成研修会 基調講演 「健康な食事」を考える 事業内容説明 報告書、講座資料の説明 等	常葉大学教授 三浦綾子 氏 地域事業部理事	34
開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数
9月27日	県立藤枝北高等学校	高校生を対象とした講習会 ①健康な食事について考える ②主食・主菜・副菜をそろえた調理実習	河村美樹、石田加奈子	16
10月7日	県立袋井高等学校		安田純世、靄谷俊江	11
10月27日	県立清流館高等学校		大村雅子、細田泰子、小出紀子	20
10月27日	県立富岳館高等学校		鈴木純子、榎葉有希、神谷早月	20
10月31日	県立田方農業高等学校		石井浩子、古田絵理、石川映子	21
10月31日	県立浜松江之島 高等学校		澤田幹代、山瀬寿子、原田智子	17
11月4日	県立磐田農業 高等学校		澤田幹代、山瀬寿子、靄谷俊江	16
11月15日	県立磐田農業 高等学校		安田純世、靄谷俊江、加藤昌代	18
11月16日	県立磐田農業 高等学校		靄谷俊江、曾我寛子、安田純世	19
1月13日	県立御殿場高等学校		池谷広美、古田絵理、石川映子	19
6~2月	県立高等学校講座 ・市町イベント、 研修会等	「健康な食事」を考える管理栄養士・栄養士が すすめる料理の冊子を高校の講座に活用し、 その他、会員の協力を得て一般消費者への普及 にも努めた。	配布会場74箇所	配付数 3,595冊

(9) 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務【静岡県健康増進課委託事業】

<p>「『食べる』から繋がる食支援ガイド」を使用し、在宅高齢者の介護に関わる専門職が高齢者の食生活の現状や低栄養予防・改善の必要性と方法及び関係者間の情報共有方法を理解し、関係職種との連携を進める。</p> <p>①連絡調整会議の開催 介護・看護・栄養に関わる専門職が連携し、在宅高齢者の食に関する課題に対応できる体制づくりを目指し、関係団体の情報交換及び連絡調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 9月9日(金) 15:00~17:00 ・開催場所 静岡県産業経済会館 3階特別会議室 <p>【出席団体】 医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、訪問看護ステーション協議会、介護支援専門員協会、理学療法士会、言語聴覚士会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、行政</p> <p>【検討内容】 (1)医療・介護専門職の連携について ・在宅高齢者の低栄養の予防・改善への取組について ・栄養サマリーの活用について ・栄養ケア・ステーションの活用について 《質疑応答》 《協議》 (2)研修会の開催について</p>
--

②担当者連絡会の開催

開催日	開催方法	内 容	出席団体
第1回 12月15日	オンライン (Zoom)	(1) 連絡調整会議報告 (2) 食支援セミナー内容及びアンケート 集計結果報告 (11/13東部会場開催) (3) 関係団体との意見交換	静岡県訪問看護ステーション協議会 静岡県理学療法士会 静岡県介護支援専門員協会 静岡県言語聴覚士会 静岡県歯科衛生士会 静岡県地域包括・在宅介護 支援センター協議会
第2回 令和5年 1月17日	静岡県男女共同 参画センター あざれあ	報告 (1) 食べるからつながる食支援セミナー (中部会場) について (2) 第1回担当者連絡会報告 意見交換 (1) 栄養ケア・ステーションの周知について ・栄養ケア・ステーションに関する疑問点 ・今後の取り組みについて (2) 食に課題がある人を支援につなげる方法に ついて ・食の課題の見つけ方 ・連携の実際	静岡県訪問看護ステーション協議会 静岡県理学療法士会 静岡県介護支援専門員協会 静岡県言語聴覚士会 静岡県歯科衛生士会 静岡県地域包括・在宅介護 支援センター協議会

③専門職を対象とした研修会の開催

在宅高齢者の介護に関わる専門職を対象とし、在宅高齢者の低栄養の予防・改善の必要性、低栄養の兆候の見つけ方、専門職との連携方法等、低栄養予防に関する連携事例・先進事例について、研修およびグループワークを行った。

【連携団体】

静岡県介護支援専門員協会、静岡県看護協会、静岡県言語聴覚士会、静岡県歯科医師会、静岡県歯科衛生士会、静岡県訪問看護ステーション協議会、静岡県ホームヘルパー連絡協議会、静岡県理学療法士会

開催日	会 場	内 容	講師	参加人数
第1回 11月13日	サンウェルぬまづ	講義：職種間連携と在宅訪問 栄養食事指導の実践について	一般社団法人日本在宅栄養 管理学会評議員理事 かなざわ在宅ICTネット 運営委員 管理栄養士 手塚波子 氏	34
第2回 12月17日	静岡県 産業経済会館	事例1：多職種連携で取り組んだ事例 事例2：多職種連携で取り組んだ事例	管理栄養士 杉山清子 氏 言語聴覚士 八田理絵 氏	22

(10) 健康づくり提唱のつどい【(株)ヤクルト本社委託事業】

株式会社ヤクルト本社の共催により、外部講師による食や健康テーマとした公開講座を開催することにより、県民の健康福祉の向上を図る。

【協 賛】東静岡ヤクルト販売株式会社、中央ヤクルト販売株式会社、西静岡ヤクルト販売株式会社

【後 援】静岡県歯科医師会、静岡県歯科衛生士会、静岡県理学療法士会、静岡県給食協会

開催日	会 場	内 容	講師	参加人数
9月25日	静岡音楽館AOI	「腸から整えるカラダとココロ」 「人生100年時代の健康長寿を 目指した新しい栄養学～新型コロナ ウイルス感染症時代のメッセージ～」	株式会社ヤクルト本社 広報室 参事 小笠原信浩 氏 京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授 医学博士 内藤裕二 先生	会場 55 WEB 42

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 231名 ・ 栄養士 21名	計 252名
------	----------------------	--------

①認定栄養ケア・ステーション登録数

東部	中部	西部	
2カ所	5カ所	5カ所 (1カ所)	* () は機能強化型

②静岡市静岡医師会との定例会議

<p>第1回 開催日：7月5日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（新井会長・久保田副会長・森田久美子会員） 静岡医師会（福地会長・鈴木副会長・飯山理事・八木理事・依藤理事・事務局中田氏） 内容：令和3年度の報告、栄養食事指導料金について、合同研修会について（テーマ及び講師等）</p>
<p>第2回 開催日：1月31日 会場：静岡市静岡医師会館 出席者：静岡県栄養士会（新井会長・久保田副会長・森田久美子会員・事務局鈴木） 静岡医師会（福地会長・飯山理事・水野理事・八木理事・依藤理事・事務局鈴木氏） 内容：合同研修会の報告と今後について 栄養食事指導料金の提示と意見交換</p>
<p>「静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会」 開催日：10月18日 会場：静岡市静岡医師会館およびWEB 参加者：医師会関係23名（会場8名・WEB15名）、栄養士会会員74名（会場25名・WEB49名） 計98名 内容：演題「『健康な食事・食環境（スマートミール）』認証制度に期待されるもの」 講師 静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命学科 教授 市川陽子 氏 ※「栄養食事指導の依頼と管理栄養士の手配について」栄養士会事務局 鈴木寿乃氏</p>

③職業紹介事業

求人数（本年度新規）	33 件
求職者数（本年度新規）	6 名
職業紹介者数	6 名
雇用契約成立数	6 件

④支部報告（2018年10月 地域包括ケアについて設立）

支部名	依頼件数	紹介者数
東部支部	3 件	5 人
中部支部	12 件	12 人
西部支部	32 件	36 人

⑤受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	8	66	66	(株)ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 トヨタ自動車健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 福山通運健康保険組合 キクチ健康保険組合 面談・電話支援 (50人)
	7	7	8	エヒメ健診協会	協会けんぽ 面談 (88人)
	22	22	23	横浜リーフみなとみらい健診クリニック	戸田漁業協同組合 内浦漁業協同組合 静浦漁業協同組合 協会けんぽ 面談 (200人)
	1	61	61	静岡てんかん・神経医療センター	初回面談・電話支援またはメール支援 (46人)
	1	26	26	(株)医療情報システム	ラウンドワン駿河店 近畿電子産業健康保険組合 (株)サニーメイズ 合同酒精(株) 面談・電話支援またはメール支援 (4人)
小計	39	182	184		
病態栄養 食事指導	1	1	1	岩崎内科クリニック	外来栄養食事指導 2 (1人)
	1	1	1	訪問栄養食事指導 (自費)	がん患者とご家族へ訪問指導 (1人)
	8	8	8	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導 (個別) (11人)
小計	10	10	10		
介護予防支援	32	32	32	浜松市高齢者福祉課	浜松市栄養改善普及啓発事業 (498人)
	1	1	1	静岡市ケアマネット協会	講演 (37人)
	1	3	3	三島市地域包括ケア推進課	自立支援サポート会議助言者
	1	3	3	島田市包括ケア推進課	自立支援型地域ケア会議助言者
	10	16	16	静岡市地域包括支援センター	地域ケア会議助言者
	1	1	1	藤枝市立総合病院地域医療連携室	地域医療と介護・福祉をつなぐ会 (140人)
	1	1	1	藤枝市地域包括支援センター	地域ケア会議助言者
小計	47	57	57		
食育支援	33	33	33	静岡市子ども未来課	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (199人)
	1	1	2	オブリック(株)	食育講座 (調理実習) (14人)
	1	2	2	富士健康福祉センター	食育指導者研修会 (36人)
	1	1	1	静岡県牛乳普及協会	コンクール書類審査
	2	2	4	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (272人)
小計	38	39	42		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	調理師養成施設の学生向け講演講師 (45人)
	1	67	67	(株)エスパルス	スポーツ選手の食事サポート
	1	1	1	健康づくり食生活推進協議会熱海	牛乳・乳製品料理講習会 (10人)
	1	3	3	牧之原市産業経済部商工観光課	地場産品活用「勝負メン」プロジェクト
	1	6	6	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ作成
	6	43	43	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (16人)
	2	2	2	静岡県薬剤師会	健康サポート薬局のための技能講習会 (200人)
	2	3	3	明光会	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (17人)
	1	1	3	富士官市薬剤師会	みややく薬と健康フェア (41人)
	1	3	3	ミズノスポーツサービス(株)	運動習慣習得事業 (23人)
	1	2	2	シンコースポーツ(株)静岡支社	スポーツリーダー講座 (20人)
	17	25	28	静岡県健康増進課	野菜マシマシ行動変容促進事業 (1591人)
	1	1	1	静岡県リハビリテーション専門職団体	静岡県災害リハビリテーション研修会
	1	1	1	静岡県給食協会	事例研究発表会での講演 (200人)
1	1	1	食とコミュニケーション研究所	健康フェア (30人)	
小計	38	160	165		
栄養成分表示	0	0	0		
小計	0	0	0		
合計	172	448	458		

(12) 県民栄養調査に関する事業

2022～2023年度の2ヶ年の事業である。2022年度は静岡県の「野菜マシマシ行動変容促進事業」で得られたアンケートについて集計を行った。

(13) 広報事業

開催日	内容（広報部）	回数等	内容（情報管理）	回数等
2022年 4月～	広報部会	1回	受信メール処理件数	15,889件
	メール部会	0回	送信メール処理件数	7,952件
2023年 3月	ホームページ更新	随時	研修会、交流会等のWEB受付数	37件
	メールマガジン配信	17回		1507名
	ホームページアクセス数	28,000件	メールマガジン登録者数	953名

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り、事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月4日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	「誰一人取り残されない災害時の食と栄養の支援を目指して」 JDA-DATの活動と今後の課題 いざという時どうする？ ～静岡県の災害時の食・栄養支援の仕組み作りに向けて～	静岡県栄養士会 静栄DAT部長 渡邊 潤 氏 味の素ファンデーション 被災地復興応援事業統括マネージャー 齋藤由里子 氏	会場 67 WEB 47

(2) 栄養士交流会

開催日	会場	目的	内容	参加人数
1月21日	【東ブロック】 (WEB・サテライト会場)	①非会員にも参加を呼び掛け、静岡県栄養士会がどのような活動をしているか、パワーポイントの資料等により周知し、理解を深める。 ②管理栄養士・栄養士の資質の向上に向けた研修会申込方法などを理解する。 ③同じ分野及び年代を超えて活動する仲間づくり、情報共有をする。	グループに分かれての座談会	WEB 24 サテライト4
12月3日	【中ブロック】 (あざれあ)		「栄養士のための交流会」	13
11月26日	【西ブロック】 (中東遠総合医療センター)		「栄養士のための交流会」 ～オープンチャット体験会～	21

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

第8回静岡県栄養士大会 演題発表および学術研究会発表者

開催日・会場		発表内容	発表者【所属事業部】	参加人数
2月11日 あざれあ 及び オンライン	午前の部 演題発表	当院の防災マニュアルの見直しについて	太田紘之【医療】	会場36 WEB 68
		災害時に備えた当院の取組 ～パッキングを取り入れた炊き出し訓練～	杉山貴紀【医療】	
		ブロックリーダーと地域活動の実際	寺田直哉【福祉】	
	午後の部 学術研究会	①エネルギー必要量摂取指導によりフェリチン低値が 改善した中年女性の一例	河村美樹【地域活動】	会場41 WEB 73
		②根拠バカな栄養士	田森稔浩【福祉】	
		③賀茂地域の中食・外食における健康的な食事の 提供状況について	名倉麻菜美【公衆衛生】	
		④障害児の偏食支援 ～連携協働で進める支援体制の構築～	渡邊里佳【福祉】	
		⑤「学校の新しい生活様式」での給食時間と食育 ～富士市での実践～	小笠原朋美 【学校健康教育】	
		⑥管理栄養士・栄養士が考えた「健康な食事」の 組み合わせによるポリフェノール総量の推定	鈴木麻理奈【研究教育】	
		⑦静岡スポーツ栄養士の会 ～事業部を超えて活動する公認スポーツ栄養士～	河合明音【地域活動】	
⑧静岡の伝統食「とろろ汁」の多様性と食文化に 関する研究	前田節子【研究教育】			
⑨令和3年度介護報酬改定に伴う業務の変化	岩崎智美、望月いづみ 【福祉】			
⑩当院の腎臓病患者に対する管理栄養士介入について	望月日奈【医療】			

(4) 生涯教育基本研修会

基本研修会の開催はなかった。

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月4日	静岡あざれあ およびWEB (リモート)	定時総会特別講演「誰一人取り残されない 災害時の食と栄養の支援を目指して」	(公財) 味の素ファンデーション 齋藤由里子 氏	会場 67 WEB 47
9月10日	沼津労政会館 およびWEB	「対人スキルアップ」研修会 栄養指導等に必要とされる対人スキル の向上について	一般社団法人アスルクラロ スポーツクラブ 運営部長兼人材 育成室長 芹沢 翼 氏	会場 5 WEB 43
9月25日	静岡音楽館AOI およびWEB (リモート)	健康づくり提唱のつどい	㈱ヤクルト本社 小笠原信浩 氏 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 内藤裕二 先生	会場 55 WEB 33
10月30日	ウェルビア ながいづみ	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ 研修会 経鼻胃管と胃瘻管理 編	静岡県立こども病院 栄養管理室 管理栄養士 鈴木恭子 氏	13
11月5日	静岡あざれあ	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ 研修会 高齢者の食支援 編 (中部)	管理栄養士 関 明子 氏	15
11月23日	オンライン (WEB)	「病態栄養」研修会 「栄養士が知っておくべき循環器疾患の 栄養のキホン」 「これからの時代に求められる 病院栄養士を考えよう」	社会医療法人近森会近森病院 臨床栄養部 宮島 功 氏	67
12月18日	クリエート浜松	在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ 研修会 高齢者の食支援 編 (西部)	地域医療機能推進機構 三島総合病院 管理栄養士 杉山清子 氏	12
1月14日	静岡あざれあ	「料理写真の撮り方、 SNSへの掲載のコツ」研修会	榊林写真事務所 フォトグラファー 榊林武俊 氏 Elthink代表 山崎靖晃 氏	48

2月25日	オンライン (WEB)	がん患者の栄養管理・栄養食事指導 ～静岡がんセンターでの取り組み～	静岡県立静岡がんセンター 栄養室 室長 稲野利美 氏	77
12月21日 ～ 3月15日	WEB (オンデマンド)	「Web学び直し講座2022」 水と電解質の代謝 栄養教育論 給食経営管理論 栄養疫学 脂質代謝について 乳幼児の食事 食品衛生 炭水化物の栄養 三大栄養素の代謝 鉄の代謝と貧血 スポーツ栄養学	静岡県立大学 新井英一 氏 同 桑野稔子 氏 同 市川陽子 氏 同 串田 修 氏 同 榛葉有希 氏 常葉大学 三浦綾子 氏 同 杉山千歳 氏 静岡英和学院大学短期大学部 望月裕子 氏 日本大学短期大学部 篠原啓子 氏 同 小山ゆう 氏	130

(6) 介護報酬改定研修会、栄養ディスカッション

開催日	会 場	内 容	担当者	参加人数
6月19日	WEB (リモート)	栄養ディスカッション(寺子屋) 児童編	福祉事業部 理事・運営委員	6
7月23日	WEB (リモート)	栄養ディスカッション (寺子屋) ～摂食・嚥下・食事形態～ 摂食・嚥下・食事形態の現状と課題解決		13
8月13日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメントステップ00研修会①		24
9月11日	WEB (リモート)	栄養ディスカッション ～介護保険編～		4
10月12日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメントステップ00研修会②		12
12月4日	WEB (リモート)	栄養ケアマネジメントステップ00研修会③		14

(7) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議： 参加者 (各地区代表者、正副会長、地区事業部理事、研修部理事)

開催日	議 事 内 容
4月17日	①2021年度地区研修会事業報告について 研修会・交流会/地域住民への健康づくり啓発活動 ②2022年度地区研修事業について 同上 ③事業報告・会計報告・予算仮払いについて ④地区別研修会のあり方等について 出席人数 18 (うちWEB出席 6名)
11月6日	①今年度の事業報告、開催予定 ②令和5年度地区研修事業計画について 実施方針、事業計画、予算 ③地区運営委員からの要望 ブロック研修と地区研修の違いについて (WEB開催 出席 15名)

②ブロック研修会

地 区	開催日・ 会場	内 容	講 師	参加人数
東 ブロック	1月21日 WEB開催 サテライト (富士)	withコロナ! 「ライフステージ を 通した食育活動」 各職域から食育活動報告	みのる認定こども園 小川知子 氏 岩松小学校 小笠原朋美 氏 富士宮市役所 光森美里 氏 日本大学短期大学部 篠原啓子 氏 熱海ちとせ病院 下田 静 氏 フリーランス 石井浩子 氏 栄養ケア事務所 杉本尚子 氏	WEB 24 サテライト4
中 ブロック	12月3日 静岡あざれあ	高血圧の管理及び診療の実際 ～生活習慣の修正 降圧治療～	静岡市立静岡病院 循環器内科医師 中川拓哉 先生	13
西 ブロック	11月26日 中東遠総合 医療センター	「健康に係る睡眠の話」	人間ドック・健診センター診療部長 兼 睡眠医療センター診療部長 新島邦行 先生	21

③各地区の研修会

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東伊豆 ・賀茂	2月28日 オンライン (WEB)	「栄養管理」研修会 解剖、機能、 検査結果から考える摂食嚥下障害 ～栄養士が知っておきたい 摂食嚥下に関わる解剖生理～	(公社)地域医療振興協会 伊東市民病院 耳鼻科科長 兼総合診療科科長 山田哲也 先生	25
田方				
東部	11月19日 プラサガエルデ・WEB	CGMで患者が変わる！ 栄養指導が変わる！	後藤医院 医師 榎澤尚子 先生	会場 7 WEB 20
富士・ 富士宮	10月22日 富士市フィランセ	研修会・交流会 「スポーツ栄養士の活動内容と 食事指導の実際について」	公認スポーツ栄養士 石井浩子 氏	17
清庵	1月21日 清水岡生涯学習 交流館	尿酸代謝（清庵地区）研修会 糖質制限は、本当にいいのか。 ～尿酸代謝から見えてきた 健康な食事とは～	静岡県立大学食品栄養科学部 教授 新井英一 氏	11
中部	11月15日 オンライン (WEB)	管理栄養士は褥瘡に どう関わるのか ～当院の活動紹介から考察～	静岡市立静岡病院 栄養管理科 太田紘之 氏	23
志太・ 榛原	9月3日 焼津市 消防防災センター	『防災つなぐ』研修会 防災の知識を地域で深めよう ～『つなぐ』ことの大切さ～	焼津市防災部地域防災課 見原汐音 氏	10
	11月5日 藤枝市 生涯学習センター	これからの 管理栄養士・栄養士の未来	前静岡県栄養士会会長 坪井 厚 氏	会場 18 WEB 10
中東遠 ・西部	9月24日 浜松市福祉交流 センター	「特定保健指導 第4期に向けて ～求められる評価への対応～」	(公社)日本栄養士会 特定保健指導担当管理栄養士 菊池眞代 氏	17

④地域住民への健康づくり啓発活動

地区	開催日・会場	内容	従事者数
東伊豆 ・賀茂	9月4日 伊東市暮らしと 医療と介護の 合同相談会	伊東市内地域包括支援センター、認知症患者支援センター、 地域リハビリ協議会、伊東熱海薬剤師会、リーガルサポート等と 共同開催し、来場者の相談内容に応じて各団体ブースと連絡を 取りながら対応した。	2
	2月19日 伊東市暮らしと 医療と介護の 合同相談会	伊東市内地域包括支援センター、認知症患者支援センター、 地域リハビリ協議会、伊東熱海薬剤師会、リーガルサポート等と 共同開催した。経口補水液やゼリーなどのサンプル配布しながら、 脱水低栄養予防や嚥下機能低下対応について相談を受けた。	4
田方	10月29日 伊豆市 社会福祉大会	掲示物と「10食品群チェックシート」およびコンビニ等で 販売しているたんぱく質食品等を活用して、低栄養予防を中心とした 栄養相談を実施した。（感染予防のため試食無し）	3
中東遠	10月16日 出張!かけがわ健康 フェア2022 in大東図書館	ポスター掲示、冊子配布して高血圧症や骨粗しょう症等の栄養相談を 行い、賛助会員提供の試供品を配付しカルシウム摂取を呼び掛けた。 「健康な食事」のメニュー冊子を配付し、栄養士会と栄養士の 仕事をPRした。	5
西部	2月12日 高台協働センター まつり	野菜摂取・生活習慣病予防をテーマとして、野菜の適量摂取を 解説した パネル展示および1日分の野菜摂取目安量の実物展示と 「健康な食事」を考える冊子、野菜摂取の啓発リーフレット、 野菜ジュースを配布、一般市民を対象とした栄養相談を行った。	4

(8) 災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日 災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

令和5年3月28日、災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定を静岡県と締結した。

会議開催状況	<p>静岡DAT運営会議（運営委員） 第1回：8月31日 WEB 15名 第2回：12月 7日 WEB 12名 第3回：2月23日 事務局7名 WEB3名</p> <p>スタッフスキルアップ 研修企画会議 第1回：1月30日 WEB 6名 反省会：3月11日 あざれあ 9名</p>	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県との災害協定締結について ・静岡DATスタッフ育成研修について ・運営委員の選出方法について ・静岡DATスタッフ育成について ・栄養士会事務所に備蓄した特殊栄養食品の管理 ・第11回静岡災害リハビリテーション研修会に 栄養士会として参加 ・静岡県社会福祉協議会(静岡DWAT事務局)より、 10月1日(土)大規模地震時医療活動訓練(政府訓練) への参加依頼 ・静岡DATメール転送機能 		
静岡DATスタッフ登録	運営委員、DATリーダー、DATスタッフ 162名(2023年3月31日現在)				
研修会への受講勧奨	第12回JDA-DATリーダー育成研修会	12月3日 オンライン (WEB)	自費参加	戸田知里 杉本尚子 内藤恵子	リーダー登録者数 31名 (2023年3月末現在)
	第7回JDA-DATリーダースキルアップ研修会			稲葉由美	

災害時栄養支援研修会

開催日	会場	内 容	参加人数
3月11日	WEB オンデマンド配信 あざれあ	<p>①基礎講座(オンデマンド配信) 「災害の理解」、「災害支援と活動の実践Ⅰ」、「災害支援と活動の実践Ⅱ」、「栄養アセスメントと指導・相談」 「災害時の食事」</p> <p>②DAT スタッフ 育成 研修会 熱海の土石流災害における被災支援(仮) 講師 熱海健康福祉センター 医療健康課 藤浪正子 氏</p> <p>DiMS 紹介 ロールプレイング</p> <p>パッキング 講師 東伊豆健康づくり課/JDA DATリーダー 稲葉由美 氏 辻林内科/JDA DAT リーダー 池谷広美 氏</p>	31

(9) 新入会員勧誘・支援事業

開催日	会 場	目 的	内 容	参加人数
12月2日	オンライン (zoom)	(第1回・福祉分野) 養成校学生が卒業後に本会に入会しやすいように、栄養士会への関心を高める。県内栄養士養成校4校の卒業年度の学生に呼びかけ、福祉事業部栄養士会員の先輩との交流を図る。	栄養士会の活動、ホームページ、入会するメリットなどを紹介し、学生からの事前質問に講師3名が回答する形で、福祉分野の仕事や心構えについて説明した。	2
12月7日	オンライン (zoom)	(第2回・医療分野) 養成校学生が卒業後に本会に入会しやすいように、栄養士会への関心を高める。県内栄養士養成校4校の卒業年度の学生に呼びかけ、医療事業部栄養士会員の先輩との交流を図る。	栄養士会の活動、ホームページ、入会するメリットなどを紹介し、学生からの事前質問に若手とベテランの5名の講師が回答する形で、病院での仕事や心構えについて説明した。	1

2 収益事業

収1 販売等の収益事業

資料の販売はなかった。

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会場	出席会員数	議案事項
6月4日	静岡県男女共同参画センターあざれあ および オンライン (WEB)	過半数を超えているので成立 書面による表決 797名 (正会員総数 1,378名)	2021年度事業報告承認の件 2021年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）および財産目録承認の件 役員選任の件 日本栄養士会代議員承認の件 名誉会員承認の件 報告事項 2022年度執行計画について

(2) 理事会開催状況

開催日	会場	出席人数	議事内容
第1回 4月17日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	21	2021年度事業報告及び決算の承認について 2022年度定時総会の運営について 生涯教育研修計画について 表彰候補者の推薦について 新理事オリエンテーションの実施について 他
第2回 6月4日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	21	健康づくり提唱のつどい開催について 地区研修会予算の追加について 栄養士会受託事業担当について 他
第3回 6月4日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	25	代表理事（会長、副会長）の選任について 理事の役割分担について
第4回 7月24日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	26	2023年度定時総会（開催日、会場）について 役員、運営委員一覧表について DiMSの登録について 年間研修計画について 他
第5回 10月15日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	26	2023年度予算編成について 表彰及び表彰候補者推薦規定について 行事食メニューのレシピ募集について 地区研修のあり方について 「リカレント教育」について 他
第6回 12月11日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	26	2023年度事業報告、予算編成について 第8回栄養士大会について 調査研究（県民栄養調査）について 2022年度生涯教育(単位認定等)申請について 他
第7回 1月22日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	25	2023年度予算編成について 2022年度大規模災害想定訓練（WEB）の開催について 栄養ケア・ステーション料金表（診療報酬・介護報酬に関する料金）について 賛助会員継続のお願いと広告募集等について 他
第8回 3月5日	静岡県栄養士会事務所 およびオンライン(WEB)	25	2023年度事業計画及び予算案の承認について 2023年度定時総会・講演会について 静栄DATスタッフ研修の内容について ホームページ内「栄養士のおすすめメニュー」について 他

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

2022年6月27日【オンライン(WEB)】

出席代議員：久保田美保子、渡邊美子、篠原啓子、鈴木恭子、池谷広美、田森稔浩

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：2022年5月15日【オンライン(WEB)】

出席者：坪井 厚

第2回：2023年2月19-20日【東京】

出席者：若林恭子

③東海北陸地区会長等合同会議

2022年8月28日【オンライン(WEB)】（主催：福井県）

出席者：新井英一、久保田美保子、若林恭子、日置朝子、内藤慶子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名	
医 療	4月18-17日	WEB	病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	久保田美保子	渡邊美子
	8月27-28日	WEB	〃 ・医療職域地区リーダー研修会	渡邊美子	中村朱美
	2月23日	WEB	〃 ・医療職域地区リーダー研修会	鈴木恭子	渡邊美子
学校健康教育	7月17日	WEB	学校健康教育VCS（東海北陸ブロック）	松島天子	
	1月20日	WEB	学校健康教育職域管理栄養士・栄養士育成のためのリーダー研修会	松島天子	
勤労者支援	12月11日	WEB	勤労者支援事業部全国リーダー研修会	森下知代	
研究教育	1月29日	WEB	研究教育職域管理栄養士・栄養士リーダー育成のための全国リーダー研修会	三浦綾子	
公衆衛生	4月23日	WEB	行政栄養士養成のための全国リーダー研修会	宇津木志のぶ	
	11月19日	WEB	公衆衛生事業推進委員会 東海・北陸ブロックVCS会議	日置朝子	
	2月19日	WEB	公衆衛生実務研修会	日置朝子	塚本ゆみ江
地域活動	10月22日	WEB	東海北陸地区ブロック会議	池谷広美	
	2月3日	WEB	地域活動事業部全国リーダー研修会	池谷広美	
福 祉	2月23日	WEB	福祉事業部全国リーダー研修会	田森稔浩	

⑤他団体との連携

内 容	参加者	開 催 日
ふじのくに健康増進計画推進協議会	新井会長	2/8
ふじのくに健康増進計画「食育部会」会議	新井会長	8/10
ふじのくに健康増進計画「歯科保健部会」会議	若林副会長	7/26
静岡県地域包括ケア推進ネットワーク会議	新井会長	6/2（書面協議）、10/24
静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会	新井会長	9/21
静岡市食育推進会議	坪井 厚	8/4 2/9
静岡県歯科医師会糖尿病歯周病医療連携委員会	新井会長	1/19
静岡県8020推進大会、住民会議	新井会長	6/16 10/18
ミズモト料理学園第15回ふじのくに食育コンテスト審査他	若林副会長	8/25
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	坪井 厚	9/16
しずおか健康づくりサポーター意見交換会	久保田副会長、塚本ゆみ江	10/26
地域包括ケア関係団体担当者連絡会議	新井会長	8/18 9/30 11/20
静岡県母性衛生学会役員会	新井会長	2/12
静岡市静岡医師会定期会議、合同勉強会 他	新井会長、久保田副会長	7/5 10/18 1/31
健康はままつ21推進会議	柴原理江	2/24
富士宮市フードバレーサミット記念式典・講演会	若林副会長	11/19
静岡県男女共同参画推進会議及び講演会等	事務局長	8/8 10/19 3/16
静岡県循環器病対策推進協議会	久保田副会長	3/7
静岡県がん診療連携協議会支持療法部会	稲野利美、高橋玲子	9/2 3/10
医療的ケア児等支援ネットワーク会議	鈴木恭子	3/1
静岡市 地域包括支援センター運営協議会委員	紅林真佐代	5/27、6/22、10/19、10/21、2/8、3/10
富士宮市 ケアマネジメント検討会アドバイザー	若林恭子、野田美千子	6/15 8/17 10/25
沼津市 市民健康増進会員	鈴木純子	3/23
富士市 住民歯科会議	佐々木和子	8/29 12/14

⑥表彰に関する事項

表彰日	項目	内容	受賞者（敬称略）
6月4日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	白石明子 他 30名
7月16日決定	日本栄養士会	会長表彰（25年業務貢献者）	永山恵美子 他 22名
11月4日	静岡県知事	保健衛生功労・栄養指導業務功労者	水嶋美穂子 渡邊 潤
9月14日決定	厚生労働大臣	栄養指導業務功労者	神戸千恵子 古田悦子
2月27日	厚生労働大臣	公衆衛生事業功労者	川口富士子
2月27日	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	井上三千代

（4）会員の状況（2023年3月31日現在）

①名誉会員 2名

②正会員（会費納入人数）

継続会員	1,259名
新入会員	117名
計	1,376名

職域事業部別会員数（※名誉会員は含まない）

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
530名	86名	45名	44名	111名	219名	341名	1,376名

◎会員増に向けての取り組み状況

- i 「メールマガジン制度」（平成18年度から実施）
（再掲）メールマガジン登録者 953名（2022年度末）
- ii 「栄養士交流会」の開催
非会員にも参加を呼び掛け、県内東・中・西の各ブロックで「交流会」を開催し、栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらった。
また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。
- iii 「新入会員勧誘・支援事業」
養成校学生が卒業後に本会に入会しやすいように、栄養士会への関心を高めることを目的とし、県内栄養士養成校4校の卒業年度の学生に呼びかけ、職域事業部栄養士会員の先輩との交流を図った。

③賛助会員 58社

第2号議案

法人名：公益社団法人 静岡県栄養士会

貸借対照表
2023年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,654,388	23,019,765	△ 1,365,377
未収金	5,000,000	2,900,000	2,100,000
貯蔵品	7,203	7,795	△ 592
前払金	118,150	114,500	3,650
仮払金	16,100	19,630	△ 3,530
流動資産合計	26,795,841	26,061,690	734,151
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	350,091	300,062	50,029
記念事業積立預金	200,052	150,034	50,018
特定資産合計	550,143	450,096	100,047
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,801	378,801	0
固定資産合計	928,944	828,897	100,047
資産合計	27,724,785	26,890,587	834,198
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	5,937,500	6,802,000	△ 864,500
預り金	4,860,000	5,468,700	△ 608,700
流動負債合計	10,797,500	12,270,700	△ 1,473,200
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	10,797,500	12,270,700	△ 1,473,200
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	16,927,285	14,619,887	2,307,398
(うち特定資産への充当額)	(550,143)	(450,096)	(100,047)
正味財産合計	16,927,285	14,619,887	2,307,398
負債及び正味財産合計	27,724,785	26,890,587	834,198

正味財産増減計算書

2022年 4月 1日 から 2023年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	47	30	17
受取入会金			
受取入会金	117,000	126,000	△ 9,000
受取会費			
正会員受取会費	13,072,000	13,053,000	19,000
賛助会員受取会費	1,740,000	1,740,000	0
受取会費計	14,812,000	14,793,000	19,000
事業収益			
公1	12,061,370	10,693,278	1,368,092
公2	611,000	227,600	383,400
収1	0	0	0
事業収益計	12,672,370	10,920,878	1,751,492
雑収益			
受取利息	1,022	990	32
雑収益	622,990	568,380	54,610
雑収益計	624,012	569,370	54,642
経常収益計	28,225,429	26,409,278	1,816,151
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,435,020	5,153,164	281,856
福利厚生費	833,330	773,339	59,991
旅費交通費	2,061,573	1,292,793	768,780
通信運搬費	1,470,520	1,470,192	328
減価償却費	344,891	332,287	12,604
消耗品費	1,458,218	1,431,469	26,749
修繕費	98,207	97,521	686
印刷製本費	227,345	610,551	△ 383,206
光熱水料費	125,794	65,057	60,737
賃借料	618,909	566,644	52,265
保険料	79,806	80,999	△ 1,193
諸謝金	7,154,903	5,398,464	1,756,439
租税公課	583,500	456,700	126,800
支払負担金	16,000	8,000	8,000
地代家賃	1,080,453	1,071,950	8,503
委託費	354,492	928,280	△ 573,788
渉外費	36,090	20,500	15,590
会議費	22,200	2,331	19,869
雑費	60,873	38,460	22,413
事業費計	22,062,124	19,798,701	2,263,423

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,706,925	1,645,206	61,719
福利厚生費	261,716	246,897	14,819
会議費	77,203	72,399	4,804
渉外費	3,030	0	3,030
旅費交通費	152,657	127,821	24,836
通信運搬費	91,701	123,623	△ 31,922
消耗品費	20,413	48,587	△ 28,174
修繕費	42,693	43,609	△ 916
光熱水料費	54,685	29,092	25,593
賃借料	208,686	212,554	△ 3,868
保険料	34,694	36,221	△ 1,527
諸謝金	5,000	5,265	△ 265
租税公課	25,800	27,400	△ 1,600
地代家賃	469,695	479,353	△ 9,658
委託費	692,679	676,900	15,779
雑費	8,330	4,230	4,100
管理費計	3,855,907	3,779,157	76,750
経常費用計	25,918,031	23,577,858	2,340,173
評価損益等調整前当期経常増減額	2,307,398	2,831,420	△ 524,022
当期経常増減額	2,307,398	2,831,420	△ 524,022
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,307,398	2,831,420	△ 524,022
当期一般正味財産増減額	2,307,398	2,831,420	△ 524,022
一般正味財産期首残高	14,619,887	11,788,467	2,831,420
一般正味財産期末残高	16,927,285	14,619,887	2,307,398
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,927,285	14,619,887	2,307,398

財 産 目 録

2023年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 普通預金 定期預金 未収金 貯蔵品 前払金 仮払金	手元保管	運転資金として	87,754
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	3,746,351
	郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	10,167,500
	静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	5,492,783
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-07)	同上	2,160,000
	静岡県 食べるからつながる地域包括推進事業業務委託料	令和4年度委託料	1,000,000
	静岡県 介護予防推進指導者育成研修事業業務委託料	令和4年度委託料	4,000,000
	手元保管	郵便切手	5,203
	手元保管	収入印紙	2,000
	手元保管	令和5年度保険料	118,150
手元保管	繰越納付済源泉所得税額	16,100	
流動資産合計			26,795,841
(固定資産)			
特定資産			
災害支援積立預金 記念事業積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)	災害支援として使用	50,029
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-19)	同上	50,025
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-23)	同上	50,020
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-01)	同上	50,014
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-03)	同上	50,002
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-04)	同上	50,001
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-05)	同上	50,000
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-24)	記念事業として使用	100,038
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-02)	同上	50,014
	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52380-9942452-06)	同上	50,000
その他固定資産			
什器備品		プロジェクター	1
電話加入権		#282-5507 他	72,800
敷金		事務所家賃敷金	306,000
固定資産合計			928,944
資産合計			27,724,785
(流動負債)			
前受金 預り金		令和5年度静栄会費他	5,937,500
		令和5年度日栄会費他	4,860,000
流動負債合計			10,797,500
固定負債合計			0
負債合計			10,797,500
正味財産			16,927,285

監査報告書

公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 新井英一様

2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日迄）の事業報告及び
附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録及び附属明細
書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

2023年4月13日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 梅本幹子 

監事 関明子 

2023 年度 公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人々への正しい食生活の普及推進に努め、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的根拠に基づく高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し、県民の健康増進や生活習慣病の予防、重症化予防、高齢者のフレイル予防に取り組みます。

今年度の事業内容の特徴

- ・少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施します。
- ・重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図ります。
- ・会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、管理栄養士・栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進します。
- ・当会ホームページや一般公開講座にて、国民・県民の健康寿命延伸のための情報提供事業を推進します。
- ・関連他職種との連携強化で、効率良い県民への地域包括食支援事業を展開します。
- ・自然災害での食支援体制の構築に向け、JDA-DAT 並びに県災害対策本部との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。
- ・すべての事業に対し、新型コロナウイルス感染予防対策を実施し、WEB 配信やリモート会議の充実、ホームページを介して会員間・多職種間との連携充実を図り、情報共有の推進をします。

II 重点項目

- 1 県民の健康保持増進を目的に、0 歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。
 - ・日本栄養士会が認定する、「認定栄養ケア・ステーション」の県内各所への設置に協力し、その事業所に従事する管理栄養士・栄養士のスキルアップと日本栄養士会が目指す国民の食を介しての健康寿命の延伸への方向性を保持するための、担当者会議並びに研修会を実施します。
- 3 県・市町の健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。

- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費・介護費の支出をできる限り減額するための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄 DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DAT リーダー・スタッフの育成を推進します。
- 10 これらの活動促進のために、保健・医療・福祉・教育関連の研究所・学会・職能団体、管理栄養士・栄養士養成施設などと連携・協働し、管理栄養士・栄養士個人では実現しにくいことを中心に、その活動を支援します。
- 11 次世代を担う幼児・学童・生徒・学生の食育と食物アレルギーの具体的対策を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通し、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
----	--

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期 ・回数	4月～2月 ・13回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	20,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期 ・回数	7月～3月 ・4～5回	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	1,500人

(3) 在宅介護者への食生活支援事業

内 容	高齢化社会に伴い、介護予防に対する取り組みはますます活発になってきております。その中で高齢者・要介護者の食事についての知識を身に付けていただき、安心できる生活を送れるように研修会を開催します。				
実施時期 ・回数	1回	会場	未定	受講予定人数	40人

(4) 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業業務【静岡県健康福祉部健康増進課 委託事業】

内 容	令和2年度から、市町において高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業が開始されたことから、通いの場や地域ケア会議へ協力可能な管理栄養士を養成することとなった。 令和5年度は、市町における事業を促進するため、「指導者育成研修」修了者が通いの場に加えて地域ケア会議等で個別支援に対応できるよう、グループワーク中心の研修を3回実施する。 また「指導者育成研修」修了者を高齢者の通いの場への紹介する事業は昨年通りとし、研修会参加希望者の管理栄養士で「指導者育成研修」未受講者は昨年度の動画等を活用し受講していただく。				
実施時期 ・回数	3回	会場	東部・中部・西部	参加予定人数	管理栄養士50名×3箇所

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県健康福祉部生活衛生局衛生課 委託事業】

内 容	県内の食品関連事業者が正しい食品表示に対応できるよう支援するための講習会等を実施する ・食品表示制度に関する講習会の実施等 年3回(Web開催も含む) 対象者数:約200名 ・普及啓発用資料等の作成及び配送 ・食品表示に関連する動画作成				
-----	--	--	--	--	--

(6) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業【富士宮市フードバレー推進協議会 委託事業】

内 容	市民に向けて地場産の食材の紹介や意義について周知し、富士宮市の食文化についても理解を深める。				
実施時期 ・回数	5月～2月	会場	未定	事業開催回数	未定

(7) 飲食店向け「健康な食事」推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内容	「健康な食事」への取組みの必要性を説明し、「健康な食事」の冊子の活用方法の紹介を通じ、「健康な食事」を意識したメニューを飲食店等で作成する為の講座を行う。野菜の積極的な使用、減塩を取り入れたメニュー作りの取組み紹介により、今後実践活用できる為の講習会を実施する。				
実施時期・回数	6月～2月	会場	県内2ヶ所	受講予定人数	飲食店関係者 各15人

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、「『健康な食事』について考える冊子」を活用し、健康づくりに繋がる講話と調理実習を行う。また、一般県民を対象とした栄養相談等において「『健康な食事』について考える冊子」を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期・回数	6月～2月	会場	静岡県内高等学校 10回	受講予定人数	200人

(9) 食べるから繋がる地域包括ケア推進業務【静岡県健康福祉部健康増進課委託事業】

内容	在宅で暮らす高齢者の低栄養を予防・改善する環境づくりを進めるため、在宅高齢者の介護に関わる専門職(医療関係者、介護関係者、行政等)が「食べること」に関する知識やそれぞれの役割を認識し、連携して対応できるよう情報交換を行うことを目的に「食べるからつながる地域包括ケア推進」に向けた会議及び担当者連絡会を開催する。 また、栄養ケア・ステーションの啓発用資料を作成し周知を進める			
実施時期・回数	連絡調整会議 1回、担当者連絡会 1回	会場	静岡市内	
対象者:	地域包括支援センター職員、介護支援専門員をはじめ、医療介護関係者等			

(10) 栄養ケア・ステーション推進事業

内容	管理栄養士・栄養士と地域住民の双方向の結びつきを強化し、あまねく地域住民が栄養ケアの支援と指導を受けて生涯にわたる実り豊かで健やかな生活を維持することのできる地域社会づくりを目指し、栄養ケア業務の地域拠点となる栄養ケア・ステーションを運営する。コーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、有料職業紹介事業所の資格も有し、登録会員に下記業務を提供している。 ①診療報酬・介護報酬にかかる栄養食事指導 ②訪問型の栄養食事指導 ③病態栄養食事指導 ④栄養・食に関する相談 ⑤特定保健指導 ⑥セミナー・研修会の講師 ⑦料理教室・栄養教室の講師 ⑧健康・栄養に関するレシピや献立の考案 ⑨食品・栄養成分表示に関する指導・相談 ⑩スポーツ栄養に関する指導・相談 ⑪地域包括ケアシステムにかかる事業関連業務 栄養ケア・センター機能の充実を図るとともに、各地域で活動する認定栄養ケア・ステーションと共に県民のニーズに応える活動を展開していく。認定事業所や認定を計画している新規事業主へのサポートを行い、県内各地での拡充を目指す。
----	---

(11) 県民栄養調査に関する事業

内容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を実施し、結果をホームページ上に掲載する。 2023年度は、集計した栄養調査を考察する。また追加調査があれば集計を行いまとめる。
----	---

(12) 広報事業

内 容	メールマガジンの定期配信が軌道に乗り、提供できる体制が整った。 今後は、ホームページ内容の充実、よりアクセスしやすい画面構成の構築を検討する。 また、栄養士会の「見える化」を図るためSNS (Instagram) による情報発信 (週に1度) を開始する。
-----	--

公2	県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業
----	---

(1) 定時総会講演会

内 容	年1回の定時総会の基調講演を開催する。国民の健康づくりの推進と資質向上、専門職としての自己実現、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。 2022年4月に農林水産省が「デジタル食育ガイドブック」を公表しました。農林水産省は「第4次食育推進基本計画」において「デジタル化に対応した食育の推進」を重点事項として位置づけています。このガイドブックでは、オンラインイベントや食育動画、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用した食育に取り組む際に参考となる、活動にあたってのフローチャートや失敗例及びその対処法、また実証レポートなど多様な事例紹介がされています。 特別講演では、ガイドブック作成に携わられた講師をお招きし、作成の背景や活用方法等を理解し、また、実践されている食育推進についてご講演賜ります。今後デジタル技術を活用した食育に取り組むためのヒントを得て、栄養士・管理栄養士として活用し広めていくことを目的とします。				
実施時期 ・回数	6月4日	会場	オンライン・あざれあ	受講予定人数	170人

(2) 栄養士交流会

内 容	静岡県栄養士会の活動を知る。非会員に向け交流会への参加を募り入会への働きかけを行う。 資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報共有。				
実施時期 ・回数	5月～12月 ・3回	会場	オンライン・あざれあ	受講予定人数	30人/回

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、9回目となる。毎回種々な職場から80名を超える管理栄養士・栄養士が交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。 2023年度は更により多くの参加者を募るため、WEBでのLive配信を併用し、会員の取り組みや成果を共有することで、さらなる発展を目指す。また会員同士の横のつながりを作る場を設ける。				
実施時期 ・回数	2月	会場	中部地区	受講予定人数	100人 (WEBおよび会場参加)

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会 生涯教育基本研修 e-ラーニングについて情報発信し、受講を推奨。日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持し、国民のために役立てる能力を身に付ける 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期 ・回数	4～3月	会場	オンライン・あざれあ等	受講予定人数	延べ 100人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持、専門とする分野に特化される知識と技術を習得するための実務研修会 (Webでのリカレント教育含む)を開催する。 ・(学校)8～9月「未定」 講義2 ・(医療)7～1月栄養診断を学ぶ/PESについて(講演1単位) PESを使ってカルテを書こう(演習0.5単位) ・(地域・公衆・勤労)9月「料理撮影とSNS活用」演習1単位×2 ・(地域活動)スキルアップ研修 東部・中部・西部 「未定」				
実施時期 ・回数	6月～2月 ・未定	会場	オンライン・あざれあ等	受講予定人数	60～120人/回

(6) eiyoushi 寺子屋・介護報酬改定に関する研修会

内 容	2023年度は、eiyoushi 寺子屋を3回、介護報酬に関する研修会3回を実施する。寺子屋では、児童・高齢・障害の会員の情報交換・コミュニティー構築できる研修会を開催する。また、引き続き2021年度介護報酬改定のフォロー研修を行う。				
実施時期 ・回数	6月～1月 ・6回	会場	WEB	受講予定人数	20人/回×6回

(7) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(各地区年1回) ②各地区小規模研修を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知				
-----	--	--	--	--	--

(8) 災害時栄養支援事業

内 容	予想される南海トラフ巨大地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。特に感染症への対応を考慮した支援及び平時の活動について検討するとともに、災害対策マニュアル及びアクションカードのブラッシュアップを行う。また、災害時には行政との連携が必須であるため、県との災害協定締結を早急に進め、県の主催する防災訓練への参加をはじめ、平時からの連携強化に取り組む。 ①災害時栄養支援スタッフ育成及びスキルアップ研修会開催 ②静岡県栄養士会災害対策マニュアル及びアクションカードのブラッシュアップ ③静栄DAT運営委員会開催 ④JDA-DATリーダー育成研修会・リーダースキルアップ研修会への受講勧奨 ⑤静岡県との災害協定締結				
-----	--	--	--	--	--

(9) オンデマンドリカレント教育研修会

内 容	会員の専門知識の向上に寄与するため、現場で必要となる基礎知識や実践に関わる最新知識を学びなおす機会を提供する。オンデマンド講座とし、視聴期間内に、学びたいテーマを受講できるように講座を設定する。講座のテーマは、2022年度に実施した講座の受講者アンケートから、会員の学びたい要望をふまえ、設定する。他の生涯教育研修と同様、受講後の提出物の状況を確認し、単位認定を行う。				
実施時期 ・回数	10月～12月	会場	WEB	受講予定人数	50名

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	栄養管理の「質」を高め、病棟業務の強化と、入退院支援、多職種連携の体制を確立させる。また、PES(栄養診断の根拠)の推進の取り組む。外来では、低栄養、糖尿病重症化予防、在宅支援等の事業を推進する。健康事業においても職域の専門性を発揮できるよう、エビデンスの構築を行い、県民の疾病予防、健康増進に寄与する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理、食に関する指導、個別的な相談指導を通し、食育の普及を図るとともに、健康の増進および望ましい食生活の形成に寄与する。
勤労者支援	働く世代の健康維持・増進のための「栄養ケアサービス」を推進し、健康寿命の延伸に貢献していく。その中で、所属先により4領域に区分し、各領域内でのネットワーク構築およびスキルアップの機会も提供しながら、情報を共有化できるよう連携を図っていく。
研究教育	県内4つの養成校の連携を密に図りながら、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会が主催する事業への学生の参加を検討し、卒業後の栄養士会入会者増を目指す。
公衆衛生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。
地 域 活 動	県民の健康づくりを支援するため、県・市・町、関係団体かと協力し、多職種と連携を取りながら県民の健康寿命の延伸に寄与する。また、常に実践で活躍できる会員の育成とスキルアップ研修等を企画、実施していく。
福 祉	福祉の現場で働く幅広い仲間に対して最適な情報発信を中心にスキルアップできる環境を用意します。法改正・時代の動向を鑑み、新しい情報を発信して正確な業務の手助けをしていきます。グループディスカッションを中心とした研修でアウトプットの訓練・コミュニティーの構築により会員同士のつながり強化・会員増に取り組む。

② 研修部 運営方針

各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等)
 研修事業の情報共有・啓発活動
 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 学術部(栄養士大会企画委員会・県民調査・研究委員会) 運営方針

静岡県栄養士大会の企画・立案・実行等の運営及び調整、会員の横のつながりを作る場の提供

④ 広報部 運営方針

ホームページへの情報提供、研修会内容や栄養士のおすすめメニュー等Web配信の充実
 メールマガジンの配信、SNS(Instagram)による情報発信

⑤ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ①代表者会議において、情報共有及び9地区の企画・運営の調整を図る。
- ②多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力し、他職種との連携を強化する。
- ③研修事業部と協力するなど、各地区のニーズに合わせた参加しやすい研修会を企画する。
- ④会員増に向け、管理栄養士・栄養士の身近な情報発信を行う。

⑥ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が組織するJDA-DAT及び県災害対策室との連携強化を図る。また、県市町の地域防災計画が具体的に進む中で、栄養士会としてどのような対応ができるのかを示していく。

- ①感染症への対応も含めた災害対策マニュアルとアクションカードに対する理解を深め初動体制を強化
- ②静岡県との災害協定締結による、自治体との連携強化と活動内容の明確化
- ③栄養士会事務局内に備蓄した特殊栄養食品の管理
- ④JDA-DATスタッフ及びリーダーの育成及びスキルアップ

⑦ 戦略検討委員会(人材育成・収益事業、栄養の日)

近年、コロナによる影響を受け、対面での交流、研修会への受講が激減し、さらには地域活動に所属する会員の活躍する場の減少など、管理栄養士・栄養士としての士気が下がっており、会員数は年々減少している。2023年度は、多くの会員からのニーズを抽出し、会員の士気があがる企画を検討し(対面だけでなく、WEBセミナー・交流会などの機会の増加、定期的な遠隔サロンの開催を企画)、会員の退会を減らす取り組みを講じていく。また、本年度も県内養成校および保健所と連携して、新卒者を対象とした事業を展開し、特に、栄養士(管理栄養士)登録時には、入会案内パンフを配付する取り組みについて、今年度も継続して実施する。

⑧ 総務部企画調整委員会(顕彰委員会・記念事業、保存管理)

長年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくため、平成29年度「顕彰選考委員会」を発足させた。現行の静岡県栄養士会表彰規定(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)の改定および整備を行い、表彰候補者の抽出、推薦方法、推薦委員会の役割等を会員にホームページなどを通じて周知を行う。法人設立記念事業(式典)に向け予算積立、開催前から記念式典担当委員会を立ち上げるなど、計画的に準備を行う。記念誌、式典に向けて事業の記録・保存は継続的に行う。表彰の種類は静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等、多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(2) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を阻害する要因である糖尿病等の生活習慣病の該当者、予備群の減少を目指し、地域保健・職域保健関係機関との総合調整を図り、特定健診・特定保健指導のより効果的・効率的な実施について協議する。

③ 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会

主催者	静岡県立静岡がんセンター
内容	国は、拠点病院等における医療従事者間の連携を更に強化にするため、がんサポートボードへの多職種参加を促しており、専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)により、一人ひとりの患者に必要な治療やケアに関し連携強化を図るよう環境整備を推進している。 静岡県のがん診療拠点病院における協議会の「相談支援」「緩和ケア」「支持療法」の3つの部会の中の「支持療法部会」に委員として参加協力している。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内容	家庭や地域、学校、職場等、社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより強化するために、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。 会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内容	食育基本法に基づき、静岡市食育推進計画の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をとおして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑦ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化している。 市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑧ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

⑨ 静岡県循環器病対策推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部
内容	「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」(平成30年12月14日法律第105号)第11条に規定する静岡県の循環器病対策の推進に関する計画である「静岡県循環器病対策基本計画」の策定、推進等に当たり、必要な事項を検討する。

⑩ 静岡県医療ケア児等支援ネットワーク会議

主催者	静岡県医療ケア児等支援センター(静岡県看護協会)
内容	医療的ケア児者の支援に関する保健、医療、福祉、保育、教育等の関係者間の連絡調整および情報交換を目的に設置され、関係機関、各団体等の代表者によって構成される。「地域の現状把握や分析」、「連携調整、支援内容の共有」、「地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題およびその対応策の検討」について協議を行う。

⑪ 静岡県アレルギー疾患医療連絡協議会

主催者	静岡県疾病対策課
内容	平成29年7月28日付け厚生労働省健康局長通知「都道府県におけるアレルギー疾患の医療提供体制の整備について」に基づき、静岡県アレルギー疾患医療拠点病院で実施する調査、分析を参考に地域におけるアレルギー疾患の実情を継続的に把握し、県拠点病院を中心とした診療連携体制、情報提供、人材育成等の施策の企画、立案や実施等、地域の実情に応じたアレルギー疾患対策の推進を図る。

⑫ 静岡県母性衛生学会

主催者	静岡県母性衛生学会
内容	周産期医療に携わる医師および助産師・看護師・栄養士・保健師・教員等で構成され、職種の垣根を越えて周産期医療の研鑽を積むことを目的としている。

公益社団法人静岡県栄養士会令和5年度予算書

2023年 4月 1日から 2024年 3月31日まで

(単位:円)

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計	摘 要
	公1	公2	共通	小計	収1	小計				
I 一般正味財産増減の部										経常収益計 26,843,000円
1. 経常増減の部										◆公益目的事業 21,278,100円
(1) 経常収益										I 公1 経常収益計 11,111,000円
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 事業収益 11,111,000円
中科目別記載				0		0				1) 管理栄養士・歯科衛生士向け介護予防推進指導者育成事業業務(静岡県委託) 4,000,000円
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2) 食べるから繋がる地域包括推進事業(静岡県委託) 1,000,000円
特定資産受取利息				0		0	0			3) 元気を見つめる外食推進活用事業(生活衛生指導センター委託) 990,000円
受取入会金	0	0	65,500	65,500	0	0	65,500	0	131,000	4) 食品表示適正化・活用普及事業(静岡県委託) 891,000円
受取入会金			65,500	65,500		0	65,500		131,000	5) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業(富士宮市フードバレー推進協議会委託) 400,000円
受取会費			9,681,600	9,681,600		0	5,274,400		14,956,000	6) 飲食店向け「健康な食事」推進事業(生活衛生指導センター委託) 350,000円
正会員受取会費	0	0	7,911,600	7,911,600	0	0	5,274,400	0	13,186,000	7) 栄養ケア・ステーション推進事業 3,200,000円
賛助会員受取会費	0	0	1,770,000	1,770,000	0	0	65,500		131,000	8) 広告掲載収入(バナー広告) 280,000円
事業収益	11,111,000	0	0	11,111,000	10,000	10,000	0	0	11,121,000	2 雑収益 0円
栄養改善、健康づくり等事業収入	6,291,000			6,291,000		0			6,291,000	II 公2 経常収益計 420,000円
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	1,340,000			1,340,000		0			1,340,000	1 受取負担金 315,000円
栄養ケアステーションツール他販売事業	3,200,000			3,200,000	10,000	10,000			3,210,000	受講料@1,000円×91人=91,000円、 @4,400×17人=74,000円(TNTG-D研修会)
広告掲載料収入	280,000			280,000		0			280,000	受講料@3,000円×50人=150,000円(災害時栄養支援研修会)
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 雑収益 105,000円
受取補助金	0	0	0	0	0	0			0	展示コマ代 @5,000円×21社=105,000円(総会10社、栄養士大会10社、研修会1社)
受取負担金	0	315,000	0	315,000	0	0	0	0	315,000	◆収益事業経常収益計 10,000円 (販売等の事業 10,000円)
受取負担金	0	315,000		315,000		0	0		315,000	◆法人会計経常収益計 5,554,900円
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 受取入会金 65,500円(新入会員)
受取寄付金				0		0			0	2 受取会費 5,274,400円(正会員費)
雑収益	0	105,000	0	105,000	0	0	215,000	0	320,000	3 雑収益 215,000円
受取利息				0		0	1,000	0	1,000	日栄養事務手数料、賛助会員封入手数料、受取利息 215,000円
雑収益	0	105,000		105,000		0	214,000		319,000	
経常収益計	11,111,000	420,000	9,747,100	21,278,100	10,000	10,000	5,554,900	0	26,843,000	

管理費							4,334,895	0	4,334,895
役員報酬							0		0
給料手当							2,151,149		2,151,149
退職給付費用							0		0
福利厚生費							331,560		331,560
会議費							216,000		216,000
旅費交通費							150,416		150,416
通信運搬費							135,660		135,660
減価償却費							0		0
消耗品費							59,500		59,500
修繕費							35,700		35,700
印刷製本費							0		0
広報費							0		0
光熱水料費							44,982		44,982
賃借料							137,802		137,802
地代家賃							369,138		369,138
諸謝金							9,520		9,520
租税公課							0		0
保険料							28,560		28,560
交際費							2,380		2,380
委託費							657,768		657,768
有価証券運用損							0		0
雑費							4,760		4,760
経常費用計	18,173,311	3,926,799	0	22,100,110	142,995	142,995	4,334,895	0	26,578,000

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,062,311	△ 3,506,799	9,747,100	△ 822,010	△ 132,995	△ 132,995	1,220,005	0	265,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0			0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0			0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,062,311	△ 3,506,799	9,747,100	△ 822,010	△ 132,995	△ 132,995	1,220,005	0	265,000
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
中科目別記載				0		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
中科目別記載				0		0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0		0			0
当期一般正味財産増減額	△ 7,062,311	△ 3,506,799	9,747,100	△ 822,010	△ 132,995	△ 132,995	1,220,005	0	265,000

事業 年度	自	令和5年4月1日	法人コード	A005293
	至	令和6年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	